

新たな観光情報発信拠点の整備について

観光交流課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市においては、令和4年10月に「枚方市観光ロードマップ」を策定し、「思わず立ち寄りたくなる淀川の中継港へ」をコンセプトに、公民共創による観光施策の展開を掲げ、枚方宿を起点に、枚方市駅、淀川河川エリア、枚方公園駅を面で捉えた地域活性化から、本市を訪れる人々が市内を滞在・周遊できる魅力ある観光まちづくりを目指し、取り組みを進めているところです。

そうした中で、市駅周辺再整備に伴う新たな観光情報発信拠点については、令和6年度前期開業に向け、京阪ホールディングス株式会社が行う京阪枚方ステーションモールリニューアル工事の一環として、市駅高架下1階において整備が予定されています。令和5年6月の全員協議会において、「ふらっと訪れた人が今日の楽しみを決められる場所」をコンセプトに、市全体の観光情報発信力の強化と、周辺施設への回遊性の向上を目指したレイアウト（案）及びスケジュールをお示ししたところです。今回、レイアウト（案）を基に作成したパース図や実施設計及び運営手法等の整備状況について説明するものです。

2. 内容

(1) 名称

東海道56番目の宿場町として栄えた歴史を踏まえ、市民や観光客が気軽に立ち寄り、観光情報に触れることのできる現代版「枚方宿」をイメージし、拠点名称は「枚方市観光案内所 Syuku56」とする予定です。

(2) 機能（案）

機能	内容
① インフォメーション	<ul style="list-style-type: none">・市全体に係る観光情報の冊子・リーフレット等の配架・デジタルサイネージを活用した情報発信・観光ボランティアガイドによる市内観光ツアーを受付
② 物販スペース	<ul style="list-style-type: none">・市内の魅力ある店舗の物産や特産品の販売・友好・交流都市物産等の販売・観光イベントチケット販売・軽飲食の販売
③ 多目的スペース	<ul style="list-style-type: none">・観光ワークショップ、待合いや軽飲食ができるスペース
④ キッズスペース	<ul style="list-style-type: none">・子どもが靴を脱いで遊べるスペース
⑤ 電動自転車	<ul style="list-style-type: none">・観光資源を周遊するための電動自転車の設置スペース

(3) レイアウト

レイアウトイメージ

⑤ 電動自転車

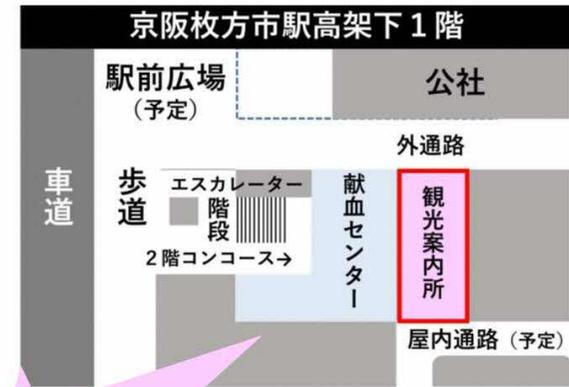
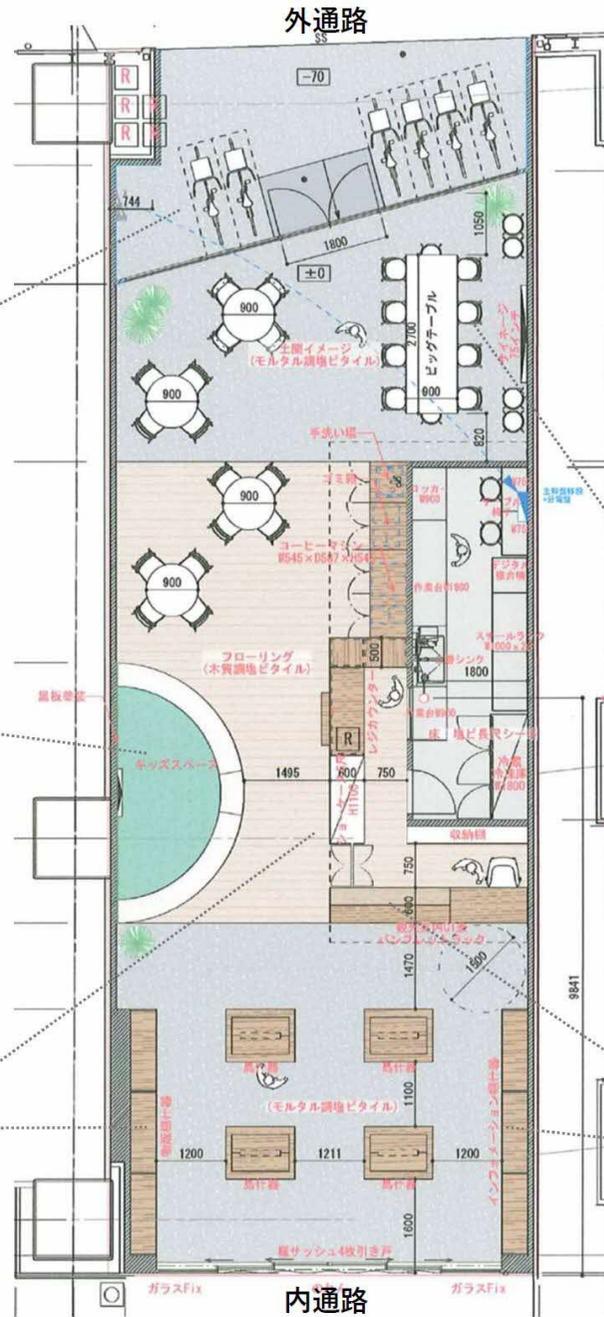


④ キッズスペース



② 物販スペース

魅力ある市内店舗の飲食物や商品を販売



③ 多目的スペース

ワークショップや待ち合わせ



① インフォメーション

「ひらいろ」等の観光情報冊子やイベントチラシ等を棚仕器に配架



※レイアウトなどのイメージは備品等を含め検討中であり確定したものではありません。

内通路からのイメージ



「ふらっと入りやすい」間口の広い出入口

※ レイアウトなどのイメージは備品等を含め検討中であり確定したものではありません。

内装のイメージ



受付・キッズスペースは木目調フローリング

※ レイアウトなどのイメージは備品等を含め検討中であり確定したものではありません。

内装のイメージ



観光情報に触れながら待合・休憩できるスペース

※ レイアウトなどのイメージは備品等を含め検討中であり確定したものではありません。

(4) 運営

新たな観光情報発信拠点の整備により、市全体の観光情報発信力の強化と周辺施設への回遊性の向上を本市の観光施策が目指す交流人口の増加や地域経済活性化につなげていくため、同拠点の運営主体については、DMOである「一般社団法人くらわんか観光マネジメント（※1）」への業務委託を予定しています。

その理由として、平成5年に本市と大阪府、京阪電気鉄道株式会社の3者で締結した「高架下公共利用に関する協定書」において、市が運営を委託できる団体は、府または市の関係する「公共性を有する団体」であることを条件としていることや、他自治体への調査からDMOが観光案内所を運営している自治体の全てがDMOに運営を一任していることを踏まえたものです。

なお、令和5年7月に枚方市、一般社団法人くらわんか観光マネジメント及び枚方文化観光協会のそれぞれが連携・協力し、枚方市における観光分野の活性化を図るため、3者間において協定書を締結しており、引き続き、枚方文化観光協会とは、観光ボランティアガイド事業等において、連携を図るものです。

※1・・・民間事業者など様々な関係団体との連携のもと、本市が目指す持続的な観光事業の確立や地域経済の活性化に向け、戦略的に観光施策を展開する経営視点を持った旗振り役を担う地域DMOとして、令和5年3月31日に観光庁の候補DMOに登録されています。

3. 実施時期等

[令和5年度]

- ・ 12月…整備費 補正予算計上
- ・ 1月…工事着手
- ・ 3月…工事完了

[令和6年度]

- ・ 4月…運営委託契約締結
- ・ 5月末…再開発建物竣工
- ・ 5月～6月…開業準備
- ・ 前期開業予定

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち

施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち



5. 関係法令・条例等

「高架下公共利用に関する協定書」大阪府・枚方市・京阪電気鉄道株式会社＜平成5年11月30日締結＞

6. 事業費・財源及びコスト

新たな観光情報発信拠点の設計および施工は、京阪ホールディングス株式会社が行う京阪枚方ステーションモールリニューアル工事の一環であることから、同社と負担金契約を締結することで実施する予定です。

《事業費》

令和5年度12月補正予算分

・整備に係る工事等負担金 53,000千円

《財源》

一般財源

※備品購入費・運営委託料・共益費などは令和6年度当初予算要求を予定しています。